求人件名	茨城工業高等専門学校　国際創造工学科（一般教養部・理科） 講師又は助教公募
機関名	茨城工業高等専門学校
機関ＵＲＬ	https://www.ibaraki-ct.ac.jp
部署名	国際創造工学科
機関種別	高等専門学校
求人内容	［機関の説明(募集の背景、機関の詳細、プロジェクトの説明等)］ 　高専は中学卒業者を対象とした５年制の国立高等教育機関で、その上に２年制の専攻科が設置されています。本校の学科は国際創造工学科の１学科４系（機械・制御系、電気・電子系、情報系、化学・生物・環境系）から成り、教員組織は４つの系、共通科目を担当する一般教養部、各分野を横断してグローバル教育などを行う専門共通教育部で構成されています。グローバル教育を推進し、世界で活躍できるエンジニアの育成を目指しています。 ［仕事内容(業務内容、担当科目等)］ 所　　属　　：　国際創造工学科（一般教養部） 専門分野　　：　物理または物理化学（学生実験も行うので実験系が望ましい） 担当授業科目：　物理，化学，応用物理などの物理と化学に関連する科目ならびに高等学校理科全般の授業や学生実験 ※具体的な担当科目は本人の専門性と適性などにより決定します。 学生指導　　：　学級担任、課外活動指導（部活動顧問等）、学生寮宿日直、等 入試業務　　：　１年次推薦入学の適性検査、４年次編入試験、専攻科入試の作問および検査、等 校務・その他：　学校運営、グローバル事業推進、課題解決型学習（PBL）の指導、等 ［勤務地住所等］ 　茨城県ひたちなか市中根８６６ ［募集人員］ 　１名　講師又は助教 ［着任時期］ 　令和６年４月１日
研究分野①	大分類　自然科学一般 小分類　磁性、超伝導、強相関系
研究分野②	大分類　自然科学一般 小分類　生物物理、化学物理、ソフトマターの物理

研究分野③	大分類　ナノテク・材料 小分類　無機材料、物性
研究分野④	大分類　ナノテク・材料 小分類　基礎物理化学
研究分野⑤	大分類　ナノテク・材料 小分類　機能物性化学
職種	講師又は助教
勤務形態	常勤（任期なし）（ただし、博士の学位を有しない場合は１年の任期あり）
勤務地	関東　－　茨城県
応募資格	（１）学生の教育・指導に熱心な方。特に、本科生の１、２年生の学生指導に理解と意欲を持って取り組める方。 （２）情報通信機器を用いた教育（ICT 教育）と英語を交えた授業の実践に意欲的な方。 （３）博士の学位を有する方、又は着任までに取得見込みの方。（学位未取得の場合は任期付き助教での採用） （４）長く勤務できる方（５年以上）。 （５）研究分野については既設の実験設備を活かせる方が望ましい。実験設備の詳細については、下記の［連絡先］までお問合せください。 （６）企業での実務経験のある方が望ましい。 （７）日本語を母語としない方にあっては、授業、担任等の業務に支障のない日本語能力を有する方。
待遇	職　　名：　講師又は助教 （職名は経歴、業績等を考慮して決定します。） 給　　与：　独立行政法人国立高等専門学校機構教職員給与規則による。 試用期間の有無：　有（６か月） 勤務時間・休日・休暇等： ・勤務時間は、午前８時３０分～午後５時００分（休憩４５分）です。 ・休日は、原則として、土曜日、日曜日、祝日、年末年始ですが、行事、課外活動指導等の際には休日勤務となる場合があります。 ・変形労働時間制が適用された場合、勤務時間、休日等が変更となる場合があります。 ・勤務時間・休日・休暇等の詳細については、独立行政法人国立高等専門学校機構教職員の労働時間、休暇等に関する規則によります。 保険等： 文部科学省共済組合（健康保険、厚生年金保険）、雇用保険、労災保険等
募集期間	令和５年１０月２３日（月）（必着）
応募・選考・結果通知・連絡先	［応募書類］ （１）　履歴書（市販用紙に本人自筆。写真貼り付け。） （２）　着任後の教育および学生指導に対する抱負（1,000 字程度）

	（３）　これまでに行ってきた研究の概要と着任後の研究計画（1,000 字程度） （４）　主要論文・著書３編以内（コピー可、共同執筆の場合は分担箇所を明示すること。また、それぞれ 100 字程度の要約を添付すること。） （５）　研究・教育業績一覧（著書、論文、特許、口頭発表、外部資金獲得実績、その他の業績等に分類のこと。） （６）　英語力を示すもの（英語による授業経験の有無、留学経験の有 TOEIC や TOEFL 得点など。） （７）　学位取得予定者は指導教員の所属、氏名、連絡先（本件に関し問い合わせる場合があります。推薦書は不要。） ［応募書類送付先］ 〒312-8508　茨城県ひたちなか市中根８６６ 「茨城工業高等専門学校 総務課 人事・労務係」宛 （封筒の表に「一般教養部（理科）教員応募書類在中」と朱書のうえ、「簡易書留」で郵送してください。原則として応募書類は返却しませんが、特に返却を希望される方は、返信用封筒（切手貼付）を同封のこと。） ［選考内容］ 第一次選考　書類審査 第二次選考　一次選考合格者に対して面接審査（模擬授業を含む。１１月下旬を予定。面接に際し、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。） ［連絡先（担当者所属、役職、氏名、e-mail、電話番号）］ 茨城工業高等専門学校国際創造工学科　一般教養部　理科主任　佐藤桂輔 TEL：029-271-2803　E-mail:skeisuke@ge.ibaraki-ct.ac.jp ホームページ: https://www.ibaraki-ct.ac.jp/ge/skeisuke/index.html
備考	（１）本校は、男女共同参画を推進しております。本公募においては業績及び人物評価の結果が同一となった場合には、女性を優先的に採用します。 （２）本校は社会のニーズに答えるべくグローバル人材の養成を目指し、授業を英語で行う取り組みを行っております。授業を英語で行える方、もしくはそのための努力を惜しまない方が望ましいです。 （３）応募前の本校の見学を歓迎いたします。お気軽にお問い合わせください。

茨城高専の教員が携わる業務内容の概略

高専は，その教育目標や学生の年齢層（本科：16～20 歳，専攻科：21～22 歳）の幅広さなどから，大学や高等学校とは本質的に異なる点があります．高専の教員は，教育，研究，学生の生活指導などの全てに対して情熱を持って積極的に努力する姿勢が求められます．ここでは，茨城高専教員の業務について，認識をさらに深めていただくために，その主なものを記します．

（１） 授業

教員の担当授業時数は，一般教養部理科において講義が週約 14 コマ（1 コマ 50 分），オフィスアワーが 1 コマ，担任を務めているときはホームルームが 1 コマです．定期試験は年 4 回（前期中間，前期期末，後期中間，後期期末）あり，前期末と後期末に再試験があります．学年末には成績不振学生に対する仮進級の指導などを行います．また，教員相互に行う授業観察や年度末などに行う学生による授業評価などを通して，教育方法の改善に継続的に取り組むことが求められています．

（２） 学級担任

一般教養部の教員は，着任 2 年目以降に主に第 1～第 2 学年の学級担任をして頂きます．学級担任は，一学級 40 人程度の学生への勉学や生活指導など，学生生活全般にわたるきめ細かな指導が強く求められます．例えば，高等学校と同様に，教室清掃の指導がありますし，ソーシャルメディアの使い方の指導や，体育大会や茨香祭（文化祭），研修旅行など各種行事での指導，学生への個人面談や保護者との懇談なども重要な職務となっています．

（３） 部・同好会の顧問

原則として全教員に部・同好会の顧問に就いて頂きます．日常的な指導をはじめ，高専大会（地区大会・全国大会）の運営や高体連などの各種大会やコンテストおよび練習試合の引率，合宿時の指導などがあります．引率・指導時に宿泊を伴う場合もあります．顧問に就任した部・同好会の経験者である必要はありません．

（４） 学校運営のための主事・副校長，主事補，各種委員会委員等

学校運営のために，校長の補佐として教務，学生，寮務の３主事と総務，地域連携・評価，専攻科の３副校長が置かれています．各主事と副校長には補佐として主事補などが配置され，主事･副校長の指示に従って職務を遂行します．なお、本校では，少しでも早く学校運営について理解していただくため，着任１年目の方に主事補（新人枠）を担当して頂きます．また，様々な課題を審議するために各種委員会があります．さらに，高等教育機関としての教育・研究や社会貢献を目的として，各種センターや室等が設置され，それぞれに課せられた職務にあたっています．こうした学校運営において積極的に活躍して頂きます．

（５） 研究，卒業研究・特別研究指導

高専の教員は，教育面や学校運営への参画のみならず，研究面での業績も求められます．研究に対する意欲的な姿勢と成果が学校全体の教育研究面の活性化を促し，さらには地域社会への貢献につながることが期待されています．一般教養部理科では，専門の先生方と連携して５年次の学生を担当し，卒業研究指導や，専攻科学生を担当し特別研究指導を行うことが求められています．

（６） 入試

本校への入学には，中学生を対象にした第１学年入学や高校生を対象にした第４学年編入学，高専や短大の卒業生を対象にした専攻科入学があります．これらの入試に作問，問題検査，採点，面接，試験監督等で関わります．一般教養部理科では，第１学年入学生向け推薦入学の適性検査（理科分野）および第４学年編入学（物理）の作問と検査,採点業務を行います．

（７） 学寮の宿日直

本校では，原則として女性教員を除く全教員に、年数回程度学寮の宿直が割り当てられます． 約 200 名の男女寮生を指導するこの職務は，学寮運営上本校教員の重要な業務の一つです．

（８） 社会貢献

本校では，共同研究，受託研究，公開講座，出前講座など様々な形で地域連携活動を展開しています．地域社会からも様々な形で本校に対する要望が寄せられます．地域連携活動が学生教育へ及ぼす効果に加え，地域に根ざした高専としての存在価値を高めるためにも，高専教員には積極的に地域社会に対して貢献する姿勢が要求されます．一般教養部理科では，本校で開催する小学生向けのおもしろ科学セミナー，中学生向けの一日体験入学，ひたちなか市主催の科学の祭典や市民大学に関わる可能性があります．